

更 企 政 号
平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 様

更別村長 岡 出 誠



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて別紙のとおり提出しますので宜しくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

北海道更別村

近年、道路行政については大変厳しい国民の皆様の疑念や不快の念を招いているところであり、信頼の回復を進めるべく、無駄の排除、真に必要な道路整備の見極めをしっかりとおりこない、地域の実情を把握し、地域の自立を図る上で必要な企業立地、観光振興や物流の効率化等に資する基幹ネットワークの構築を基に推進していくことが必要である。

具体的には、

- ① 地域の実情にあった安心安全なライフラインの確保を前提とした広域的な連携
- ② 地方道路特定財源の確保・充実を図り地方財政の負担軽減
- ③ 医療・産業等の地域格差の解消に資する効果的な道路環境整備
- ④ 政策課題に対応した効果的な高速道路料金の引下げ
- ⑤ スマートインターチェンジ等利便性の向上に繋がる新たなアクセス手法の導入及び検討

等が挙げられる。

○現状

更別村は農業を基幹産業にした人口約3,400人の小規模自治体であります。

更別村は宅地分譲等の移住・定住施策や、医療・保健・福祉・子育て施策の積極的な推進の結果、近年、人口は微増傾向にはありますが、今後は既に人口減少が急速に進んでいる他の小規模自治体同様、人口の減少傾向が続くことが予想されます。

住民のライフラインである国道については236号線1路線のみという状況から災害時に孤立してしまう可能性も有り、住民の安心・安全確保からも本村における国道の位置づけは重要なものとなっています。

村道の舗装補修、除雪、構造物の老朽化への対策などについては、財政状況が非常に厳しい中維持管理経費が不足しており十分な対応が出来ない状況であります。

夏季間村道から国道に出る際、左右の見通しがきかないほど草丈が高くなっている箇所があり交通安全上危険な状況がみられます。

冬季においては、主要な幹線道路である国道の果たす役割は大きく、冬季の路面、除雪が不可欠となっています。

市街地周辺の国道における街路灯の設置が少なく夜間や吹雪時の安全確保という点では改善が必要と思われれます。

○課題

村道は村民のくらしに密着した道路として重要な役割を担っています。地方道路整備交付金は貴重な財源であり、村道の課題解決のために道路特定財源による確保・充実に、高齢化社会の進展、子供を安心して育てることができる社会の実現のため、歩道整備などの交通安全対策を重点的に進め、安全・安心できる道路環境整備を推進する必要があります。

また、小規模自治体にとっては生活環境の向上やにぎわいを創出し魅力ある市街地の形成を行うことも今後重要とされる部分であり、道路、歩道、街路灯、案内看板等の効果的な整備も必要とされます。

更別村においては、今年度第5期更別村総合計画を策定し、まちづくりテーマを「いつまでも住み続けたいまち 豊かさ・安心・笑顔あふれる夢大地」とし、今、更別村に住んでいる人はもちろん、これから生まれてくる子どもたちも、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりをめざしています。

まちづくりテーマを実現するために、「にぎわいと元気を生み出すまちづくり」「生活の安心を高めるまちづくり」「笑顔に出会うまちづくり」「協働で感動するまちづくり」の4つの基本目標を定めておりさらに基本計画において交通基盤の整備等、より具体的なまちづくりの取り組みを設定しています。

安全で機能的な道路網の整備を目的に①高規格道路の整備促進②国道、道道の整備、維持管理③村道の整備、維持管理④除排雪体制の充実の4つの方針を掲げています。

生活や生産活動を支える、最も基礎的で重要な道路の整備と維持管理に努め、交通弱者に配慮したやさしい道づくりを促進し、事故を防ぎ、冬の生活を守るため、除排雪体制を充実させることを基本に今後道路環境整備を進めていくとしています。

一方、「更別村交通安全計画(第8次)」も策定しており、人命尊重の理念の下、村民の協力を得ながら国・道・関係団体等と一体となり、交通安全対策を協力を実施しています。本計画の中では、道路交通環境の整備として、生徒、児童、高齢者、障がい者の安全な通行を確保するため、安全・安心な歩行空間の整備を推進しています。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項 高速ネットワーク の整備	○代表事例 帯広・広尾自動車道の整備促進	○期待する効果や評価等 高度医療施設への早急・安全な広域アクセス及び農畜産物の輸送コストの縮減など地域経済の産業振興が図られる。 北海道横断自動車道との接続により道央圏へのアクセス時間が短縮され流通範囲の拡大、観光の振興が図られる。 交通環境が改善され事故防止に繋がる	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	耐震・豪雨対策の推進	豪雨、地震など災害時における緊急輸送道路の確保は、安全・安心のために必要不可欠であり、特に国道は、主要な幹線道路として災害時における役割は重要であり、災害に備えた橋梁の整備を重点的に進めることで交通安全の向上、事故防止に繋がります。住民の安全・安心が確保できる。	
少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成、良好な生活空間・自然環境の形成	舗装道路の整備(バリアフリー) 中心市街地整備(道路、街路灯)	少子高齢化社会に対応したユニバーサルデザインを推進し、舗装道路の整備や歩道の設置を行うことで生活の利便性が向上される。 中心市街地においては道路整備も含めた街並み整備を実施して景観の向上を図ることでイメージアップに繋がります。地域の活性化が期待される。	